

11. 広島大学

The screenshot shows the Hiroshima University website in a Mozilla Firefox browser window. The page features a navigation menu with links for English, Chinese, and other services. A main news section is titled "中央図書館にラーニングcommons(仮称)がオープンしました。" (Learning Commons (tentative name) opened in the Central Library). Below the text, there are three photographs: a service counter, a lounge area with sofas, and a view of the library's interior. The browser's address bar shows the URL: www.hiroshima-u.ac.jp/top/koho/news_info/p_oajc4b.html.

広島大学 中央図書館にラーニングcommons(仮称)がオープンしました。 - Mozilla Firefox

www.hiroshima-u.ac.jp/top/koho/news_info/p_oajc4b.html

広島大学 中央図書館にラーニングcommons(仮称)がオープンしました。

学問は、最高の遊びである。

English 中文 交通アクセス・地図 お問い合わせ サイトマップ サイト内検索

HIROSHIMA UNIVERSITY 学部等 大学院 研究所・施設等 図書館・博物館等 大学病院 附属学校

対象者別メニュー

- 広島大学で学びたい方へ
- 一般・地域の方へ
- 企業の方へ
- 卒業生の方へ
- 在学生・保護者の方へ

基本情報メニュー

- 大学案内
- 入学案内
- 教育・学生生活
- 研究
- 社会連携
- 留学・国際交流
- 広報・報道
- 法人情報
- 採用・就職・求人
- 校友会・同窓会
- 支援財団・基金

学内ポータル

ソーシャルメディア
広大公式アカウント

トップページ > 広報 > お知らせ・行事等 > 中央図書館にラーニングcommons(仮称)がオープンしました。

中央図書館にラーニングcommons(仮称)がオープンしました。

ラーニングcommons(仮称)の様子。暖色系を取り入れて、リラックスできる空間となっています。(ラーニングcommonsの正式名称は、今後、学内公募を行って決定する予定です)

総合カウンター。

総合カウンター内のソファで、ゆったり・じっくりと相談に応じます。

スライド 1



Group Space入り口 : 協調型学習空間はどうしてもうるさくなるためにドアで完全に仕切った。全面ガラスにし外から利用用途と稼働状況がわかるようにした。

スライド 2



Group Space 室内 : 両面がガラス戸であり非常に明るい。端末室の位置づけのため各テーブルセットに据え置きパソコン1台が設置されている。

スライド 3



BIBLA全体サインとStudy Space : サイン:エリア毎に柱は色分けされている。スタディスペースは明るい全面開放空間となっている。

スライド 4



案内掲示板、Study Space : 柱巻きの
掲示板は、への字型の総合案内カウ
ンターとスタディスペースを繋ぐ役割を果た
しており、館内でもっとも効果のある掲示
空間となっている。

スライド 5



休憩コーナー及び新着展示コーナー :
据え置き端末がないため、飲み物を飲
めるコーナーとなっている。新着図書掲
示什器は組合せ可能であり、キャスター
付テーブル・椅子ともどもコーナー全体
のレイアウト変更が可能である。

スライド 6



総合案内カウンター : 左面がレファレ
ンスサービス、右面がメディア教育研究
センター北分室でそれぞれのスタッフが
利用者対応している。

スライド 7



総合案内カウンター後方：じっくり対応が可能なコーナー 解放空間であるが、利用者はソファに座り、他の利用者とは視線があわないようにレイアウトしている。

スライド 8



ワークスペースに用意した用具等(テーブル、パンチ、糊)は予想以上にレポート作成に活用されている。

スライド 9



BIBLA展開にあわせ手前の貸出・返却カウンターも改修(カウンターサイズ縮小、サイン・レイアウト刷新、個室貸出機の導入等)を行った。

Group Space 無線LAN対応	IMCデスクトップパソコン	10台
	可動式ホワイトボード	9台
	ホワイトボード壁面	2面
	ホワイトボード壁掛けレール	2式
	組合せテーブル (*PC設置以外はレイアウト自由)	8セット
	一人掛けテーブル	16台
	椅子	49脚
	プロジェクター	1台
	可動式スクリーン	2面
	50インチプラスディスプレイ	1台
	ビデオデッキ	1台
スペース内に対面相談室	1室	

*教員による授業予約が可能です

Study Space 無線LAN対応	一般座席	59席
	IMC デスクトップパソコン	44台
	図書館設置パソコン	9台
	スペース内に障害者優先座席	2席

Work Space	白黒プリンター	2台
	カラープリンター、スキャナ複合機	1台
	コピー機	4台
	マイクローダー	2台
	作業仕分け台	3台

総合案内カウンター	●サービス時間	
	レファレンス	9:00-17:00
	情報メディア教育研究センター北分室	9:15-17:00

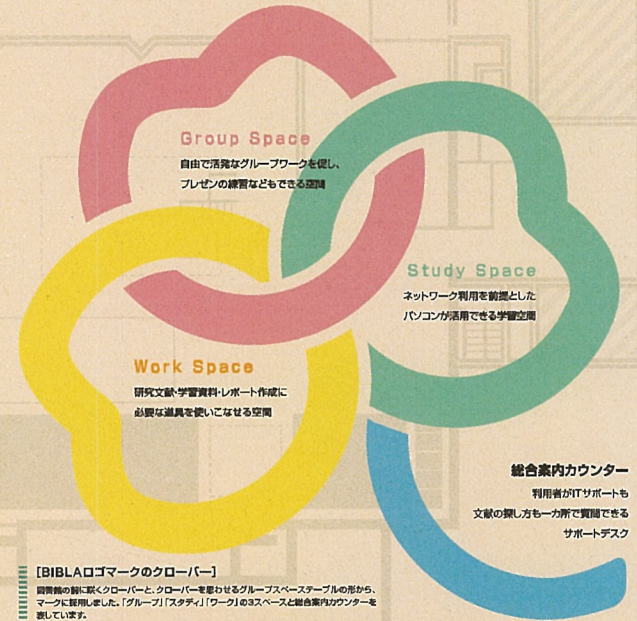
*データベースの使い方など時間をかけて質問できる
コンシェルジュコーナーがあります

広島大学図書館 中央図書館 1階

住所：広島県東広島市鏡山1-2-2
電話番号：082-424-6214 (フロアサービス担当)
ホームページ：http://www.lib.hiroshima-u.ac.jp/

BIBLA

BIBLAは、広島大学図書館のラーニング commons の名前です。〈ビブラ〉と呼んでください。
BIBLAは、「図書館 Bibliothek + 広場 Platz」を繋いだ造語です。
オープンで自由な空間として、ご活用ください。

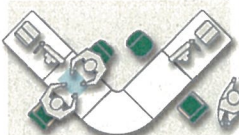


広島大学中央図書館

ラーニング commons BIBLA 利用案内

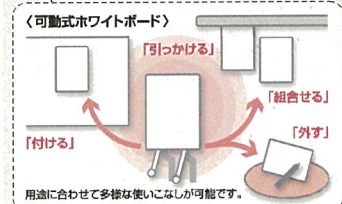
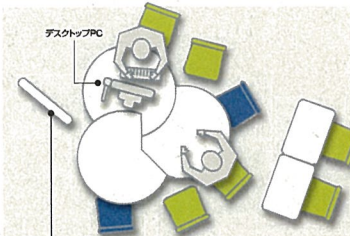
総合案内カウンター

何でも調査・相談のためのサポートデスクです。図書利用、資料調査の質問・相談は、図書館スタッフが、パソコンのサポートは、情報メディア教育研究センター北分室のスタッフが担当します。ゆっくゆっく時間をかけてご相談の場合はコンシェルジュコーナーで対応します。何でも気軽にどうぞください。



Group Space

グループ学習のためのスペースです。可動テーブルと椅子、ホワイトボードを自由にレイアウトし、議論やプレゼンテーションの場として活用してください。無線LAN、ネット端末のほか、プロジェクターも利用できます。



新着展示・休憩エリア テラス

学習の合間のちょっとした休憩コーナーです。ここでは書籍や飲料を飲むことができます。リラックスして、新着図書をチェックしてはいかがでしょうか。天気の良い日は、テラスでリフレッシュもお勧めです。



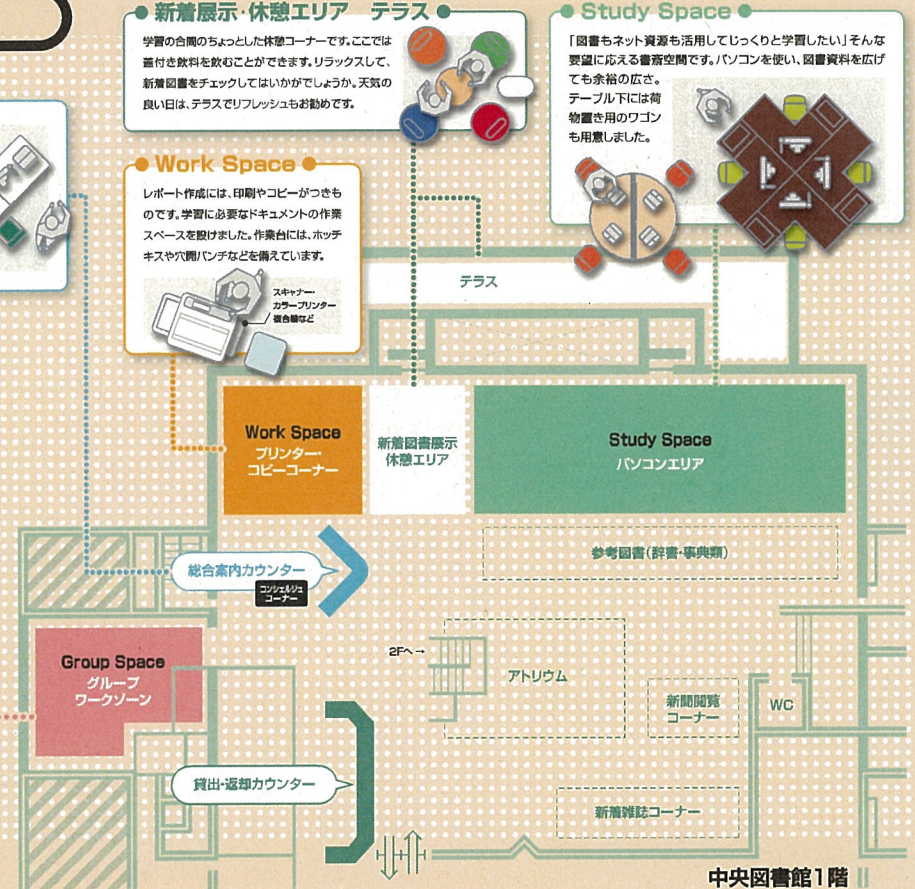
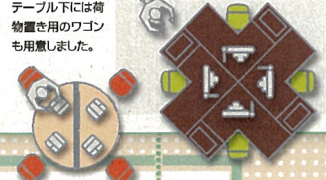
Work Space

レポート作成には、印刷やコピーがつかいものです。学習に必要なドキュメントの作業スペースを設けました。作業台には、ホットキスや穴パンチなどを揃えています。



Study Space

「図書もネット資源も活用してじっくりと学習したい」そんな要望に応える学習空間です。パソコンを使い、図書資料を広げても余裕の広さ。テーブル下には荷物置き用のワゴンも用意しました。



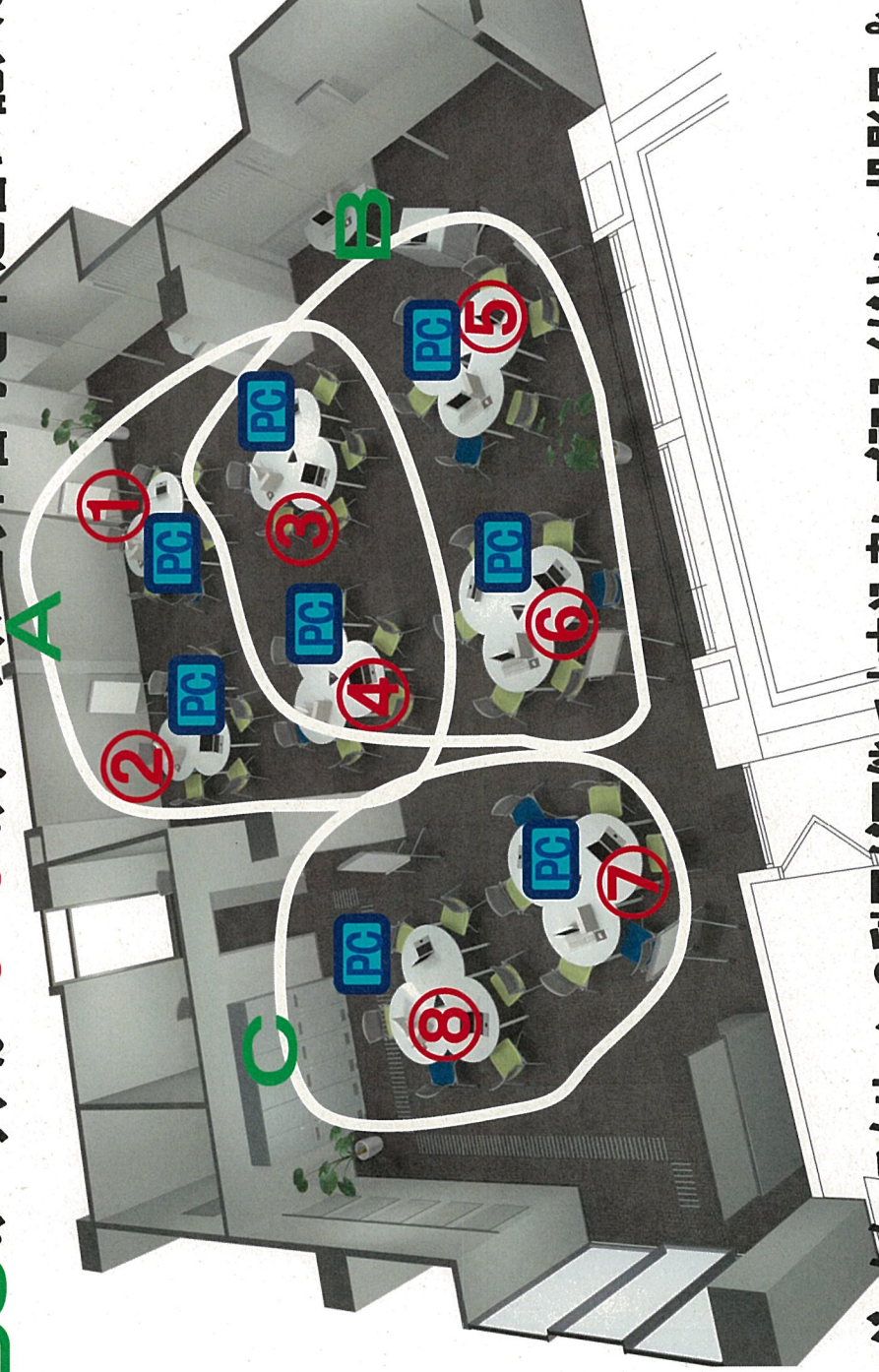
中央図書館 1階

【BIBLAグループスペース エリア図】

出来るだけ、多くの方に利用していただきたいので、20名以下のご予約の場合、基本的に部分予約にさせていただいております。

PC テーブルセットに1台端末があります

A ABCのエリアが ①~⑧ のテーブルセット番号を申込書に記入してください。



* プロジェクタ、スクリーンの利用が可能です申込書にご記入ください、投影用パソコンはご用意ください。

【プロジェクタ:当日貸出・返却カウンターにてお受取りください】

【スクリーン:スペース内のものを移動(携帯・自立型)してご利用ください】

中央図書館施設利用・予約申込票

施設名	<input type="checkbox"/> グループ閲覧室（ 号室）注2	<input type="checkbox"/> 特別閲覧室	
	<input type="checkbox"/> その他（ ）		
	<input type="checkbox"/> BIBLA(ラーニング commons)グループスペース 注3	<input type="checkbox"/> 全体予約 <input type="checkbox"/> 部分予約 <u>*以下のいずれかを必ず指定して下さい。</u> テーブルセット番号： エリア指定：	
	<input type="checkbox"/> 対面朗読室 BIBLA(ラーニング commons)グループスペース内		*予約は特別支援活動に限定します 注4
使用 日時	_____年 _____月 _____日（ _____曜日）～ _____年 _____月 _____日（ _____曜日） _____時 _____分 ～ _____時 _____分（閉館15分前まで）		
申込者	申込日 _____年 _____月 _____日 所 属 _____学部・研究科・部 _____学科・専攻科等・グループ 個人（学生）番号 _____ 氏 名 _____ 連絡先電話（ _____ ） - _____（内線： _____） メールアドレス _____		
使用 目的	使用目的 _____ _____ 使用機器 _____注4) 利用人数 _____名		
教員の 承諾	（グループ閲覧室予約：学生が申込者の場合）指導教員名 _____ _____（承諾）印		

《注意事項》

注1) ライブラリーホールは専用別書式にてお申込みください。

注2) グループ学習室の利用にあたっては、他の利用者に迷惑にならない様をお願いします。騒音等で苦情が出た場合、退室して頂く場合があります。又、次回からの利用をお断りします。

注3) BIBLA グループスペース：教員自身による授業目的の予約に限定します。

多くの方に自由に利用していただきたいため、利用人数が20名より少ない場合、部分予約が基本となります。「BIBLA グループスペースレイアウト図」(別図)のテーブルセット番号・エリア番号を記入して下さい。

注4) プロジェクター（1台）、及び、対面朗読室は対面朗読室用PC（1台）の貸出が可能です。

※記載いただく氏名等の情報は、本人確認及び利用に関する連絡に使用します。

図書館 処 理	館 長	副図書館長	普及グループ リーダー	東広島地区707 サービス担当

1. 目的

中央図書館BIBLAは、平成 22 年 4 月にラーニングコモンズ(仮称)として仮オープンし、一般公募で名称が BIBLA となり、9 月には情報メディア教育研究センター(以下メディアセンターと略す)ICEパソコンの設置、同センター職員の 2 名常駐、各スペースのサイン完成、「利用案内 BIBLA」の発行などを経て、10 月には本格オープンした。その間、日経ニューオフィス賞新知的交流施設賞を受賞し、各スペースともに多くの利用者があり、内外からも高い評価を受けて来た。また、利用者にも好意的な評価を受けている(資料〇、1~4参照)。

本格オープン以来 1 年を経過し、利用状況を入館者数の推移、設置されたパソコンの稼働率、「図書館利用者アンケート」「平成 22 年度学生生活実態調査自由記述」などを基に、BIBLA 設置の効果について考察し、報告するものである。

なお BIBLA の各スペースの機能、配置、設備品等は、「利用案内 BIBLA」が詳しいので、この報告に添付し、ここでの説明は省略する。

2. BIBLA 設置後の入館者数の推移について

BIBLA 設置の効果を、先ず指標として最も分かり易い入館者数で見たい。BIBLA 本格オープンの平成 22 年 10 月から平成 23 年 9 月までの入館者数の合計を、仮オープン以前の平成 20 年 10 月~平成 21 年 9 月までと比較すると、17.8%、仮オープンの時期も含めた平成 21 年 10 月~平成 22 年 9 月と比較しても 10%の増加となっている。これを利用の特に多い期間(4 月~7 月)で見ると、平成 23 年度は前年、前々年度に比べて、20%を超える増加となっている。多目的な来館型の図書館利用の浸透、近々パソコン 16 台が増設されることなどを考慮に入れれば、平成 23 年度 1 年間の入館者数は、BIBLA 以前と比較して、おおよそ 25%程度の伸びが期待できるのではないかと推測される。(資料〇、図〇参照)

3. 各スペースの利用状況について

●Group Space

利用者が気軽に入ることができるスペースに、との主旨で、認証を不要にしているため、利用データは採っていないが、平成 23 年 7 月 11 日から 8 月 8 日まで、週日は 17:00 と 20:00、土・日曜日には 15:00 にこのスペース在室者数を計測した。このデータによれば、この期間平均して 17:00 で 27.5 名、20:00 で 22.7 名、土・日 15:00 で 25.6 名の在室者があり、試験期間を含めた利用者の多い一期間のことではあるが、1,2 名で 1 テーブルを占有する場合なども考慮に入れれば、テーブル 8 セット、椅子 40 脚が、かなり良く利用されていると行うことができると思う。利用者アンケートでも、このスペースは広範囲な利用をされていることが伺える(資料〇、5~9参照)。

このスペースでグループ学習の授業を定期的実施している教員は、平成 22 年度後期 3 名、平成 23 年度前期 2 名となっており、その他必要に応じ随時利用する教員も数名見られる。その他図書館講習会では、参加人数等によりこのスペースを利用しており、スペースの一部を授業または講習会に利用し、その他のスペースを学生が自由に利用している場合も、どちら側にも目立った支障は出てい

ない。

なお予想外の利用者数があるため、希望に応じられない際の予備として使用するため、2階2室に防音装置を施した(通常はグループ閲覧室として使用)。

●Study Space

利用者が、自分の書斎のように自由にパソコンを使うことができることを目指して作られた空間である。昨年の本格オープン以来、64台のパソコンはかなりよく利用されているとすることができる。メディアセンター岩田准教授に提供して頂いた統計によれば、平成22年9月～平成23年8月平均で、1ヶ月1台当たりの利用時間は156時間で、これは1日の開館時間を11時間とした場合、そのうち6.2時間稼働していることになる。またログインの回数は1台当たり4.6回である。これは特に利用の多い時期(4月～7月)では、稼働時間は8.1時間であり、ログイン回数は6.5回となっている。この数値は学内のICE端末を設置している他の17カ所の平均と比較して4～5倍にあたる(資料○、図○参照)。

●Work Space

コピー機周辺で作業をし、カウンターに文具を借りに来る学生が多数あることから、コピー機、プロジェクター、プリンター等に囲まれたスペースに、学生が自由にレポート作成などに必要な作業が行える空間を設けたところ、便利であると好評であり(資料○、10～11参照)、常に利用者が絶えない状態である。

●総合案内カウンター

図書館職員2名、メディアセンター職員2名が常駐して、各種問い合わせに回答している。ICEパソコン、プリンター関係はメディアセンターが担当し、それ以外は図書館が担当するのが原則ではあるが、双方の総合案内カウンター担当の職員が、それぞれの領域のことも理解するようになり、非常に良好な協力関係が築かれており、行き届いたサービスが提供できるようになって来ている。

カウンターの後方にはソファ、昇降型デスク、利用者説明用のパソコンなどが配置され、前のカウンターではできにくい、時間のかかる問い合わせ(電子ジャーナル・データベースの使い、レポートの書き方等)に答えることができるようになっている。

また図書館、メディアセンター各2名体制になったために、パソコンのトラブルや書庫の案内など、席を離れる必要が生じても、利用者を待たせる心配なく出向くことができるようになり、大きなサービス向上となっている。

●東図書館 BIBLA East

中央図書館 BIBLA に先駆けて、平成22年2月にオープンし、当初は図書館のパソコンが設置されていたが、現在はICEパソコン15台が設置されている。中央館の全スペースの機能をコンパクトにまとめたような作りで、パソコンデスク、椅子等は中央図書館 BIBLA と環境に合わせて色調はやや変えているが、同じ BIBLA のイメージを表現するような配色・配置を心がけてデザインされている。

狭いスペースではあるが、様々な利用がされているのは、中央図書館 BIBLA と同様で、1ヶ月平均約2,600人の学生が利用しており、それは東図書館入館者の約30%を占めている(資料○参照)。

4. その他

命名と広報を兼ねて、ラーニングコモンズ(仮称)であった空間に名前を公募した。応募が約40件あり、その中から、ドイツ語の Bibliothek(図書館)+Platz(広場)を繋いだ造語で「BIBLA」が採用となった。最終候補となった3人には記念に図書カードが贈られ、全応募者には図書館グッズが贈られた。募集、応募、選考、発表の過程の中で、図書館ラーニングコモンズ、BIBLAが利用者の間にある程度浸透し、興味を惹きつけることができたと思われる。

また、応募者の一人から、ロゴがあった方が親しみやすいという提案があり、Group Spaceにある机の形と図書館前に咲くクローバーから採用したロゴが生まれる結果となった。なおクローバーの形は「グループ」「スタディ」「ワーク」の3つのスペースと総合案内カウンターを表している。

5. まとめ・今後の課題

BIBLAオープンに伴い、総合案内カウンターを充実させ利用者支援にも人的・時間的に余裕を持って当たることができる体制になった。また学生がレポート作成などの実際の作業も行えるようにし、教員がグループ学習などを行いやすい体勢を整えることができた。これらの様々なサービス向上の努力が、改修、パソコンの設置などと相まって、BIBLAが利用者に好意的に受け入れられ、順調に浸透している結果となった。

それにはBIBLAの詳細な設計、運用の検討などと同時に、学内の10名を超える教員、多くの学生などへの聞き取り調査が大変有効であったと思われる。「どういう空間があったら使いたいのか?」について、詳細な希望を話してもらい、障害のある利用者に対する配慮についても、アクセシビリティセンターからアドバイスを受け、現在も可能な限り実現に努めている。

BIBLAの学内での認知度が高まり、より多くの学生に利用される状態は望ましいが、授業期には、特に試験期を中心として、Study Spaceではパソコンが満員で使用できないという苦情が多く寄せられた。情報メディア教育研究センターのご厚意で、平成23年11月からパソコン16台が中央図書館1階に増設されることとなった。今後、更なる利用者数、入館者数の増加につながると思われる。

中央図書館、東図書館にBIBLAは設置され、十分な利用がなされているが、他館、特に霞図書館、東千田図書館にもBIBLAの設置が急務である。協調学習、多目的スペースが望まれるだけでなく、学生は東広島、広島両キャンパスで、同程度の環境、同程度のサービスを受ける機会を与えられるべきであり、将来的には5館全部にBIBLAができるよう努めるとともに、学内に理解を求めて行く必要があろう。

西図書館2階・3階では、メディアセンターの300台を超える端末が利用できる。そこで平成23年10月から西図書館とメディアセンターが協同でカウンター業務を行う体制でのサービスを開始した。これは中央館BIBLAでの総合案内カウンターでの好評を背景に、BIBLAに一步近づくために図書館とメディアセンターが協同で打った布石と言えよう。

